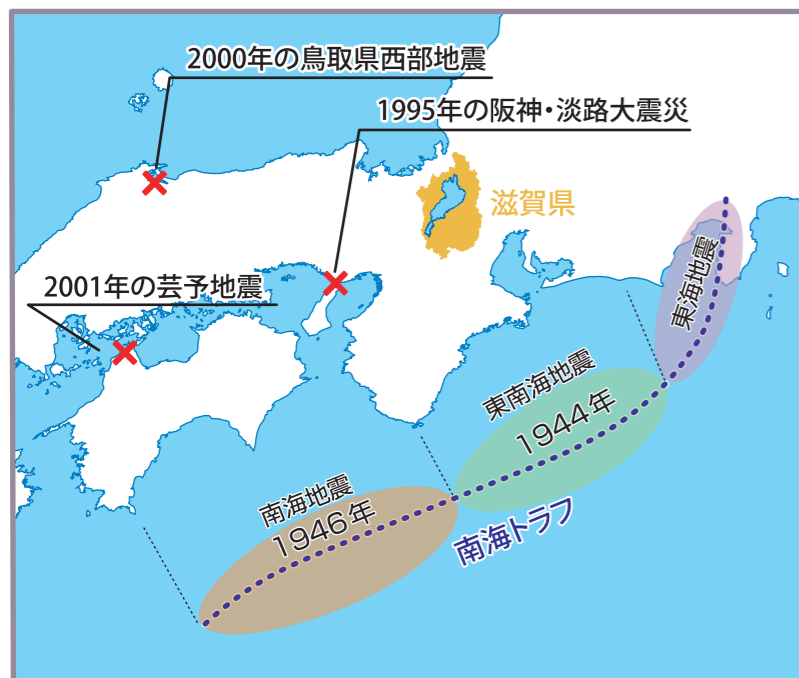


2-4. 市への影響が大きい地震

市では、市への影響が大きい「琵琶湖西岸断層帯地震」、「南海トラフ地震」について、震度想定を行いました。

下図は「琵琶湖西岸断層帯」、「南海トラフ」や過去に発生した地震の位置を表しています。



出典：「滋賀県ホームページ」



出典：「地震調査研究推進本部」

		地震名	マグニチュード	今後30年以内の地震発生確率
想定地震	活断層地震	琵琶湖西岸断層帯地震(南部)	7.5程度	ほぼ0%
	海溝型地震	南海トラフ地震	8.0～9.0	70%～80%
参考	活断層地震	阪神・淡路大震災(兵庫県南部地震)	7.3	0.02%～8% (発生直前の評価)
	海溝型地震	東日本大震災(東北地方太平洋沖地震)	9.0	10%～20% (発生直前の評価)

出典：「地震調査研究推進本部(算定基準日 令和2年1月1日)」

巨大な地震が発生すると建物の倒壊、液状化により建物が傾いたり、または家具の下敷きになるなどの被害が生じます。また、道路や電気、ガス、水道などのライフラインが寸断されたり、火災が発生するなど、大きな被害に発展する恐れがあります。

阪神・淡路大震災では、犠牲者の約8割が住宅などの倒壊による圧死といわれています。大きな地震から人命や財産を守るためには、住宅などの耐震化が必要です。地震に備えるためには、地域で発生する恐れがある地震、建物被害などの可能性を十分に理解し、防災に対する意識を高めることが重要です。

2-5. 琵琶湖西岸断層帯地震(震源:南部)の想定震度マップ

このマップは、琵琶湖西岸断層帯地震(震源:南部)が発生した場合の想定震度を示しています。

琵琶湖西岸断層帯地震(震源:南部)の今後30年以内の発生確率はほぼ0%とされておりま

